

Year 1 Phonics Screening Check

Information for parents and carers

1年生のフォニックス・スクリーニングチェック

保護者向け情報



フォニックスとは？

フォニックスとは文字と音声の関係性を学ぶもので、英語の読み方を身につけるうえで極めて重要な学習方法の一つです。正しい読み方の習得が苦手な児童を早期に認識することはたいへん重要です。これにより教師は、こうした児童たちに必要な支援計画を立てることが可能となります。

1年生のフォニックス・スクリーニングチェックとは？

1年生のフォニックス・スクリーニングチェックとは州全体で実施される簡潔な成績評価であり、これによって教員はお子さんのフォニックスの能力を把握できます。このスクリーニングチェックでは、お子さんが異なる英語の文字の組み合わせをどれだけ読むことができるか評価します。教員はお子さんに対して40の単語を読み上げるよう促します。これらの単語には、実際に用いられる単語20語と意味のない言葉20語が含まれています。「意味のない」言葉は、児童がこれまでに見たことのある単語の記憶に頼らず、ブレンディングの知識を用いて単語を読むことができるかどうか確認することを目的に入れられています。このテストは通例5分～7分間の長さで実施されます。お子さんが混乱したり苛立ちを感じたりするようであれば、教員はテストを中止します。このチェックは、お子さんができる限りストレスを感じないように配慮のうえ作成されています。

1年生のフォニックス・スクリーニングチェックの主な目的は、お子さんのための学習計画の作成に必要な情報を教員に提供することです。1年生の児童はすべて、教員によって個別に評価されることになります。

なぜフォニックスは重要なのですか？

英語の読み書きを学ぶには、発音の知識と技能が必要不可欠です。上達のためには、児童は個々の文字または異なる文字の組み合わせによって表される音を学び、またこれらの音を組み合わせることで単語を読む能力を身につける必要があります。学習を始めたばかりの子どもたちは、話の流れや理解を中断しないよう素早く、流暢に音を組み合わせること（ブレンディング）を学ぶ必要があります。

1年生のフォニックス・スクリーニングチェックに関してご質問をお持ちの方は、学校までお問い合わせください。

電話通訳サービス

お問合せの際に通訳の支援を希望される方は、電話番号131 450番にダイヤルし、日本語をご指定のうえ学校に電話するようにお伝えください。オペレーターが通訳を呼び出し、会話のお手伝いをします。このサービスは無料でご利用いただけます。